

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月15日

上場取引所 大

上場会社名 サコス株式会社

コード番号 9641 URL <http://www.sacos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀬尾 伸一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社部門管掌

(氏名) 石川 忠

TEL 03-3442-3900

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	7,241	10.3	567	70.8	573	74.2	334	95.0
24年9月期第2四半期	6,566	7.5	332	87.9	329	109.1	171	481.8

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 333百万円 (96.0%) 24年9月期第2四半期 170百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	7.64	7.64
24年9月期第2四半期	3.92	3.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	12,754	6,433	50.3
24年9月期	12,234	6,193	50.4

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 6,412百万円 24年9月期 6,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	1.00	1.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 上記に記載した25年9月期(予想)の配当金予想額は、平成24年12月21日開催の定時株主総会において、2株を1株とする株式併合の議案が承認・可決されたため、当該議案に基づく株式併合後の株式数で計算したものであります。

なお、詳細につきましては、平成24年11月15日に別途開示いたしました「株式併合に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	13,675	6.3	732	66.9	733	66.8	412	126.3	9.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	43,866,681 株	24年9月期	43,866,681 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	41,028 株	24年9月期	61 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	43,842,095 株	24年9月期2Q	43,866,620 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成25年9月期の業績予想につきましては、平成24年11月15日に公表しました数値を変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
 - 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき予測したものであり、実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、市場動向、競合等の要因により、予想数値と異なることがあります。
 - 当社は、平成25年4月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、業績予想における1株当たり当期純利益は、株式併合後の株式数で計算しております。また、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、1株当たり純資産、発行済株式総数(普通株式)は、前連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定し、算定しております。
- なお、株式併合の詳細につきましては、平成24年11月15日に別途開示いたしました「株式併合に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、年末に発足した新政権への期待感から為替が円安に振れ、株価も大幅に上昇いたしました。それにより、減少が続いていた輸出が下げ止まり、マインドの改善による個人消費の堅調な推移に牽引され、景気の持ち直しが見られました。

当社及び連結子会社が関連する建設業界におきましては、民間企業の設備投資が出遅れているものの、首都圏の建築工事では住宅関連工事が引き続き拡大を続け、土木工事では首都高速道路、横浜環状北線、圏央道、外環道等の道路工事が活況を呈しております。鉄道工事では、私鉄各社の連続立体化工事が活発に推移しており、JR東日本による東北縦貫線や大型ターミナル駅改良工事も進められております。また、首都直下型地震対策としての駅舎工事等、安全対策工事も本格的に始まりました。関西地区では、阪神高速道路大和川線や京都第二外環状線の工事がピークとなり、大型の建築工事も追い込みとなりました。今後は新名神高速道路が主要工事となります。

このような状況において、当社は全社を挙げての営業活動により、大型プロジェクト工事及び建築工事を中心に既存現場の受注拡大と新規現場の受注を進め、ゼネコンを主体に取引の拡大をいたしました。なお、新たに投入をした環境関連オリジナル商品である、充電式ハンディ型LEDライト「ミニ静Light」も各方面で大変好評をいただいております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、72億41百万円（前年同四半期比110.3%）となりました。内訳としましては、賃貸収入が60億40百万円（同109.7%）、その他の売上高が12億1百万円（同113.3%）であります。

また、営業利益につきましては、5億67百万円（同170.8%）、経常利益につきましては、5億73百万円（同174.2%）、四半期純利益につきましては、3億34百万円（同195.0%）となりました。

今後は、輸出の回復と設備投資の持ち直しも見込まれ、景気は明るさを増していく可能性が高いと思われませんが、当社といたしましては中期的な経営戦略「みのむし経営」の仕上げの年として、ICTを活用した営業の効率化と情報の迅速化を取り入れつつ、地に足をつけた営業活動を進め、業容の拡大と財務体質の強化並びに業績の安定に努めてまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、127億54百万円と前連結会計年度末に比べて5億20百万円（4.3%）の増加となりました。これは、現金及び預金の減少1億47百万円があったものの、売上債権の増加5億98百万円があったためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、63億20百万円と前連結会計年度末に比べて2億80百万円（4.6%）の増加となりました。これは、仕入債務の増加2億10百万円があったためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、64億33百万円と前連結会計年度末に比べて2億40百万円（3.9%）の増加となりました。これは、配当金の支払87百万円があったものの、四半期純利益3億34百万円を計上したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1億47百万円減少し、9億71百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1億9百万円（前年同四半期は53百万円の獲得）となりました。これは、主な減少項目として売上債権の増加5億98百万円及び法人税等の支払額2億13百万円があったものの、主な増加項目として税金等調整前四半期純利益5億73百万円の計上に加え、仕入債務の増加2億10百万円及び減価償却費1億75百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、47百万円（前年同四半期は39百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出46百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2億9百万円（前年同四半期は1億41百万円の獲得）となりました。これは、主な増加項目として社債の発行による収入3億94百万円に加え、長期借入れによる収入2億円及び短期借入金の増加額1億円があったものの、主な減少項目として長期借入金の返済による支出5億30百万円及び社債の償還による支出2億50百万円があったためであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月15日に発表した平成25年9月期（平成24年10月1日～平成25年9月30日）の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の業界動向等を総合的に勘案した結果、修正いたしております。

なお、詳細につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,118,402	971,264
受取手形及び売掛金	4,162,043	4,760,952
商品及び製品	22,584	22,268
仕掛品	21,910	45,076
原材料及び貯蔵品	102,008	101,429
その他	320,508	345,693
貸倒引当金	△42,839	△49,410
流動資産合計	5,704,618	6,197,275
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	283,270	305,894
土地	4,598,453	4,598,453
その他(純額)	1,114,601	1,104,764
有形固定資産合計	5,996,325	6,009,111
無形固定資産		
投資その他の資産	7,452	7,176
その他	592,436	613,141
貸倒引当金	△66,606	△72,057
投資その他の資産合計	525,830	541,083
固定資産合計	6,529,608	6,557,371
資産合計	12,234,227	12,754,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,876,128	3,087,113
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	612,500	214,400
1年内償還予定の社債	384,500	342,000
未払法人税等	222,974	297,688
賞与引当金	233,905	267,492
役員賞与引当金	3,520	4,600
その他	432,584	458,144
流動負債合計	4,766,112	4,771,439
固定負債		
社債	896,000	1,088,000
長期借入金	182,000	249,600
役員退職慰労引当金	4,080	4,700
資産除去債務	59,024	59,542
その他	133,169	147,365
固定負債合計	1,274,273	1,549,208
負債合計	6,040,385	6,320,647

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,167,551	1,167,551
資本剰余金	1,222,338	1,222,338
利益剰余金	3,781,510	4,028,744
自己株式	△20	△8,705
株主資本合計	6,171,379	6,409,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	346	2,097
その他の包括利益累計額合計	346	2,097
新株予約権	1,296	3,873
少数株主持分	20,820	18,100
純資産合計	6,193,842	6,433,999
負債純資産合計	12,234,227	12,754,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	6,566,860	7,241,189
売上原価	4,081,244	4,399,908
売上総利益	2,485,616	2,841,281
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	766,895	768,829
賞与引当金繰入額	229,449	263,521
役員賞与引当金繰入額	2,980	4,600
退職給付費用	22,313	23,197
役員退職慰労引当金繰入額	8,934	620
貸倒引当金繰入額	13,402	17,265
その他	1,109,373	1,195,710
販売費及び一般管理費合計	2,153,348	2,273,744
営業利益	332,267	567,537
営業外収益		
受取利息	203	312
受取賃貸料	13,534	14,043
補助金収入	—	10,100
その他	17,313	18,049
営業外収益合計	31,052	42,506
営業外費用		
支払利息	16,757	15,177
その他	17,480	21,472
営業外費用合計	34,238	36,649
経常利益	329,081	573,393
特別利益		
固定資産売却益	30	—
特別利益合計	30	—
税金等調整前四半期純利益	329,112	573,393
法人税、住民税及び事業税	167,663	273,765
法人税等調整額	△8,607	△32,619
法人税等合計	159,055	241,145
少数株主損益調整前四半期純利益	170,057	332,247
少数株主損失(△)	△1,702	△2,720
四半期純利益	171,760	334,967

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	170,057	332,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	360	1,750
その他の包括利益合計	360	1,750
四半期包括利益	170,418	333,998
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,120	336,718
少数株主に係る四半期包括利益	△1,702	△2,720

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	329,112	573,393
減価償却費	153,373	175,049
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,382	12,022
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,840	33,587
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,780	1,080
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,170	620
受取利息及び受取配当金	△203	△312
支払利息	16,757	15,177
固定資産除売却損益 (△は益)	△30	—
貸貸資産の取得による支出	△138,563	△89,480
売上債権の増減額 (△は増加)	△658,869	△598,908
たな卸資産の増減額 (△は増加)	24,309	△22,271
仕入債務の増減額 (△は減少)	331,310	210,985
その他	21,503	24,690
小計	103,107	335,633
利息及び配当金の受取額	203	312
利息の支払額	△16,734	△13,102
法人税等の支払額	△32,606	△213,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,970	109,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,383	△46,049
有形固定資産の売却による収入	35	—
長期貸付金の回収による収入	3,810	3,270
その他	△152	△4,598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,691	△47,377
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	10,000	100,000
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△84,700	△530,500
社債の発行による収入	198,982	394,467
社債の償還による支出	△217,700	△250,500
自己株式の取得による支出	—	△8,685
配当金の支払額	△43,866	△87,733
リース債務の返済による支出	△19,829	△24,131
割賦債務の返済による支出	△1,782	△2,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	141,103	△209,281
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	155,382	△147,138
現金及び現金同等物の期首残高	1,127,178	1,118,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,282,561	971,264

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。